注目の異業種交流会

茨城県内にも、多くの異業種交流会がある。設立の経緯や狙いはさまざまだが、活発な交流が連携を生み出し、ビジネスにつながり、相互利益を生み出すことができれば理想的だ。会の設立から時間が経過すると、次のステップに進むために組織形態の見直しも必要になる。今回は、次世代若手経営者を中心とした会「ひたち立志塾」と、研究開発を積極的に志す企業の会「茨城県研究開発型企業交流協会（ＩＲＤＡ）」の二つの中小企業異業種交流会の取り組みを紹介する。

連携、そしてビジネス創出へ

研究開発を積極的に志す企業の会

茨城県研究開発型企業交流協会

技術展示会を開催

独自運営にし成果目指す

ＩＲＤＡ総会で、今後の活動方針について説明する辻信行会長

県主導でスタート

茨城県研究開発型企業交流協会（ＩＲＤＡ、イルダ）は、１９８９年11月に設立。当初は、創業支援機関である、つくば研究支援センター（茨城県つくば市）に入居する中小・ベンチャー企業を中心に、茨城県の主導によって20社強でスタートした。研究開発を志向する県内企業の異業種交流会で、勉強会や見学会を中心に、つくばの研究機関や大学と交流を行っている。現在の会員数は33社。

特に、15年ほど前から始めた産業技術総合研究所（産総研）つくばセンター内で行っている技術展示会は活動の大きな柱だ。年に1回、会員企業のうち20社程度が産総研の一部スペースを借りて、自社の技術を研究者に直接見てもらう機会を設けている。展示会には多いときで、研究者ら200人以上が訪れるという。「研究者から直接いろいろな意見を聞ける貴重な機会」（辻信行ＩＲＤＡ会長＝ツジ電子社長）とし、実際に商談も行われている。最近では産総研のほか、宇宙航空研究開発機構（ＪＡＸＡ）や、日本自動車研究所（ＪＡＲＩ）などでも技術展示会を行っている。

産総研で行われたＩＲＤＡの技術展示会

事務局持ち回りに

そんなＩＲＤＡの転機は今年5月。これまで事務局運営を茨城県商工労働部が担っていたが、会員企業が持ち回りで事務局を務める独自運営の形式に切り替えた。現在の事務局は、ツクバリカセイキ（茨城県つくば市、中山俊明社長）が務める。そして茨城県商工労働部は顧問として活動にアドバイスを述べる立場となった。今回、運営主体の変更は、新たに共同受注や共同開発の可能性を探って、具体的な成果に結びつけていこうとする前向きな進化を狙うものだった。

そして具体化のための活動主体としてＩＲＤＡ内に立ち上げたのが「23会」という組織。ＩＲＤＡ設立「23年目」に設立されたことと、メンバーの中心である次世代若手経営者の「兄さん」をかけた。若手中心ということで活動も積極的だ。「待っていてはダメだ」（佐藤達志・23会会長＝ビームトロン社長）と福島や群馬などの企業や中小支援機関のほか、医療や農業分野の研究機関などを独自に訪れてネットワークの拡大に努めている。

積極的な種まき

さっそく今年は会員同士で「ナノバブル研究会」を立ち上げた。目に見えないほどの泡を使って金属表面の汚れをとるなど、何か産業利用できないかという検討を始めている。「何かビジネスの種が見つかるかもしれない」（同）と23会スタート1年目の今年は各方面で積極的な種まきを進める。茨城県商工労働部とも引き続き連携しながら、新しい形の異業種交流会を目指す「新生・ＩＲＤＡ」。挑戦は始まったばかりだ。

次世代若手経営者を中心に組織

ひたち立志塾

後継者育成 志高く

さらに踏み込んだ研究へ

関教授の私塾から

全国の動きと同様、茨城県日立市も企業数の減少は著しい。１９８９年に８０５社あった中小製造業は２００９年までに４５７社と、40％以上減少した。雇用も４万８９５人から２万８１０９人まで減少し、２万人近くの働く場が失われている。危機感を抱いたのは一橋大学名誉教授・明星大学教授の関満博氏。全国の企業数減少の原因は、「後継者がいないことにつきる。経営を志す気持ちを高めるには、経営の志の高い人と交流することだ」との持論を展開し、私塾として全国に30ほどの異業種交流組織を仕掛けた。

茨城県の私塾は「ひたち立志塾」。県北部の日立・ひたちなか地域の若手経営者を中心とした異業種交流会として２００７年にスタートした。活動は1年単位で、参加者自身が人材育成やリーダーシップなど共通テーマを決めてゼミナール方式で勉強会などを行う。毎年10人前後が参加し、２０１１年までの5年間で卒塾生は50人を輩出した。活動は年を追うごとに盛り上がりをみせ、結束は高まった。

分科会方式に変更

そして東日本大震災をきっかけに、卒塾生も含めた会員同士のさらなる信頼感が高まる。震災で被害を受けた工場の復旧のために、全国の私塾メンバーがツイッターなどのＳＮＳを使って、食料の融通や金属加工機械を調整するための精密水準器の貸し借りを行った。他の異業種交流会にはない結束を生んだ。

今年度はＯＢを含むメンバーの要望によって、ひたち立志塾の仕組みが大きく変化した。1年ではなかなかできない、踏み込んだ研究をしたいとの強い意見がでた。これまでの1あるいは2テーマを通年型ゼミナール方式で勉強する形から、分科会方式で複数年度に渡ってテーマを勉強する方式に運営を変更。46人が6分科会に分かれて、交流・勉強している。

第5期の入塾式で講演する関満博教授

２０１１年度に行われた中小企業ＳＮＳ活用シンポジウムには約１７０人が集まった

例えば、医療や航空機などの新分野に参入を検討する「先端技術研究会」は、将来的には新事業参入に向けた新会社の立ち上げを目指す。また、「最強のナンバー2」の分科会では、例えば兄弟で経営する会社で、社長である兄をサポートする弟のあり方を研究し、将来は企業組織論の出版を考える。そのほか、変化に対応する組織作りを考える「カメレオン」などそれぞれ10人弱の分科会で研究している。

塾生自ら考え運営

今年度も新たに11人が入塾した。来年度の入塾はまだ決まっていないが、複数年度に渡って、踏み込んだ活動をする方式に変更したため、「来年度以降、既存の分科会に新しい塾生がスムーズに入っていけるかが心配」と事務局を務める日立地区産業支援センター（茨城県日立市）の日向晃一氏は語る。入塾者によって新たな分科会をつくることなどで解決することになりそうだ。塾生自らが考えて運営する「ひたち立志塾」の取り組みによって、茨城県北部地域に高い志を持つ若手が育っている。

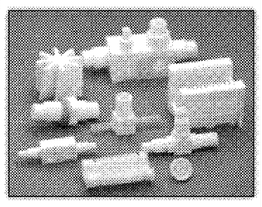
グローバルに活躍する
茨城の元気企業

Biemtronは研究開発型企業として、ONLY ONEの装置を提案し、先端技術開発をサポートする企業です。
◆超高真空技術・薄膜技術・荷電粒子技術◆
株式会社 ビームトロン
〒311-4305 茨城県東茨城郡城里町上青山298-1
TEL:029-240-6005　FAX:029-240-6008　http://www.biemtron.com

S.P. エンジニアリング株式会社
各種産業機械・電気制御品の設計・製作
（メイン：製鉄機械・原子力機器・研究開発品・ECO品など）
取締役社長　泉　富栄
〒317-0074・日立市旭町2-2-11　☎0294(24)7555(代)
URL http://www.sp-eng.co.jp/

CNC旋盤による、自動車機器部品、電子機器部品、通信機器部品等の複合切削加工
加工サイズ φ0.2～φ32.0
難削材、異形材対応可能
小ロットから数十万個まで
株式会社エムテック　〒312-0056 茨城県ひたちなか市津田東2-1-3　TEL.029-272-4310　www.m-tech61.com/

樹脂加工の事ならお任せ下さい！
24時間稼働で試作～量産まで対応します。
①樹脂精密切削加工
・いかなる樹脂も高精度に仕上げます。
PEEK、PPS、テフロン、PFA、ABS、PP、PVC（塩ビ）、etc
②樹脂溶接
・フッ素樹脂溶接対応、樹脂溶接技術でコスト削減案を提案します！
③樹脂モールド
・最先端設備とクリーンルーム内成形でフッ素（PFA）、PEEK、PPS成形に対応！



水戸精工株式会社
茨城県ひたちなか市山崎46-2　http://www.mitoseiko.co.jp

"超平滑面への挑戦"
半導体材料、酸化物単結晶、光学部品材料、金属材料等の超精密研磨加工及び周辺技術
日本エクシード株式会社
〒303-0043　茨城県常総市内守谷町4382-4
TEL 0297-27-1531(代)　FAX 0297-27-1536
http://www.nihon-exceed.co.jp

表面処理・めっき業、金属製品製造業
主に電気・電子機器部品のめっき加工
①微小・精密部品のめっき加工　②各種めっき加工技術の開発　③品質を重要視　④納期の厳守
茨城プレイティング工業株式会社
〒319-1541 茨城県北茨城市磯原町磯原1611－5
TEL 0293-42-1820　FAX 0293-43-4100
http://www.i-plating.co.jp　E-mail ohsawa@i-plating.co.jp

電子回路の試作品から量産品まで承ります。
《1台限りの特注品を大歓迎します》
得意な分野は
✓パルスモータコントローラ
✓高速カウンタ・タイマ
✓マイコン応用装置
✓FPGA(DSP)応用装置
✓アナログ・ディジタル回路
✓LAN応用計測・制御装置
APPLICATION OF ELECTRONIC DEVICES
ツジ電子株式会社
X線回折データ収集ソフト"SPEC"の日本代理店
本　社／〒300-0013 茨城県土浦市神立町3739
TEL.029-832-3031(代) FAX.029-832-2662
[ISO9001/ISO14001認証取得]
↑本社外観
詳しくはホームページをご覧ください。▶ http://www.tsujicon.jp/

流体性能試験システム
部材試験　エンジン　冷却系　空力計測　室内　排気系
TRS ツクバリカセイキ株式会社
http://www.trs-jp.com　E-mail:trs@trs-jp.com

金属箔・多層膜フィルムの打ち抜きに！
世界最小クラス
超精密金型
目視抜きハンドパンチ
ストレスフリーのショット感。
抜き位置を目視で確認！
超精密仕上げ
抜群の切れ味で、バリ・変形・コンタミの発生なく、打抜くことが可能です。
小型軽量化＆高剛性設計
最小限の打ち抜き力で、高品質な打ち抜きが、長期間に亘り継続します。
薄膜材打ち抜きの試作用治具から量産用金型まで設計製作致します！
SNG NOGAMI 株式会社 野上技研
茨城県常陸大宮市泉1136-3
明日の日本を支える元気なモノ作り中小企業300社
まずは、ご相談ください!!　●☎0295-53-2109　●sng@nogami-gk.co.jp　●http://www.nogami-gk.co.jp/